

内装工事も本格化！住民説明会＆現場見学会を開催



市は、メロープラザの建設をはじめ、浅羽会館の跡地をエントランス広場として整備するなど、浅羽支所周辺の一體的なまちづくりを推進しています。

このため、メロープラザ管理運営計画と、エントランス広場基本構想の、2つの計画案を策定し、11月1日から30日までの期間でパブリックコメントを実施しています。

また、11月14日にはこれらの計画に関する住民説明会と工事見学会を、合わせて実施しました。

はじめに、市担当者から計画内容を説明した後、工事現場に赴き、概ね70%にまで進んだ工事の様子をご覧いただきました。

参加した皆さんからは、「素晴らしい施設ができると知り大変期待している。積極的に活用するよう市民に働きかける必要がある。」「施設内容を良く知り、市民みんなでアイデアを出し合えば良い事業ができるのではないか。」「子どもから大人まで幅広い層が移用する施設になることを願っている。子ども達にも施設のことをわかりやすく伝える機会があると良い。」など、活発な意見が寄せられました。



多機能ホール内部の工事の様子



北側から見たフライタワーの建築状況です。高さは21mあり、音響反射板や幕などを収納します。浅羽支所周辺整備事業実施計画に基づき、周辺の景観との調和を促すよう配色しています。



座席は、白木にチャコールグレーの生地をあしらい、フォーマルからカジュアルまでをこなす逸品です。52cmとワイドな座席幅は、工事見学会でも好評でした。